

第1学年道徳科学習指導案

日時 令和2年11月19日(木) 5校時
児童 1年生 9名
授業者 坂下 和泉

1 主題名 こまっぺ いる ともだちに

2 教材名 「くりの み」(学研)

3 主題設定の理由

(1) 価値について

小学校学習指導要領における内容項目「B主として人との関わりに関すること」の〔10 友情, 信頼〕〔第1学年及び第2学年〕に「友達と仲よくし, 助け合うこと」とある。これは, 友達関係における基本とすべきことであり, 友達との間に信頼と切磋琢磨の関係をもつことに関する内容項目である。この内容項目は, 第3学年及び第4学年で, 「友達と互いに理解し, 信頼し, 助け合うこと」に発展していく。

本時においては, 友情に重点をおいて指導する。

(2) 児童について

学級の児童は, 休み時間に友達と仲よく遊ぶ様子が見られる。また, 友達が物を落とした時には片づけを手伝ったり, 泣いていると「どうしたの」と声をかけたりする姿も見られる。しかし, 自分の思いが優先し, 相手の気持ちを考えずに行動してしまう場面も見られる。

そこで, 相手の立場に立って相手が困っているときに進んで助け合おうとすることの大切さについて, 理解を深め, 心情を育てたいと考える。

(3) 教材について

本教材は, きつねとうさぎが登場し, 展開する物語である。寒い北風の吹く日, 友達のきつねとうさぎがそれぞれ食べ物を探していた。きつねは, 見つけたどんぐりをお腹いっぱい食べた後, 独り占めしようと隠し, 帰り道で会ったうさぎに「何も見つからなかった。」と嘘をついてしまう。一方, うさぎは, 食べ物がないうさぎを気の毒に思い, たった二つのくりのみの一つを分け与える。そんなうさぎの優しさに触れ, きつねは涙を流すという内容である。自分のことしか考えていないきつねと, 困っている友達を助けようとするうさぎの姿から, 友達が困っているときに進んで助け合おうとすることの大切さを考えさせることができる教材である。

気づく段階では, 普段, 児童がとらえている「友達」とはどんな人なのかを話すことで, 本時で学習する価値への方向付けをし, 学習テーマを設定する。

つかむ段階では, きつねの気持ちを考えさせる。お腹いっぱい食べた後で, 残ったどんぐりを葉っぱで隠したきつねの気持ちを考えさせ, 独り占めしようとするきつねの心の弱さに共感させたい。また, 導入で提示した冬の森の写真から, 自分が見つけたえさを確保しようとすることは自然な行為であることも理解させたい。帰り道, うさぎに出会い, 「何もなくてはらぺこです。」と嘘をつき, それを聞いたうさぎがきつねを思って二つ見つけたくりのみの一つを渡した。きつねはそのくりのみを握りしめて涙をぼろっとこぼしたときの気持ちを多面的・多角的に考えさせ, 児童の考えを聞き合うことで, 他者理解を深めたいと考える。さらに, 教材を通して考えた後に, 「友達とはどんな人か」を再度問い, 困っている時にその人を思って助けようとする人であるという価値理解を深める。

そして, 道徳的価値について自己を見つめる段階では, 困っている友達に対してこれからどのように行動するのかを学習シートに記述させ, 自分の考えを発表して聞き合うことで, 自己を見つめよりよい生き方を考えさせたい。

あたためる段階では, 学習を整理し, 友達と仲よく助け合おうとする意欲を高めて終わらせたいと考える。

4 学習指導過程

(1) ねらい

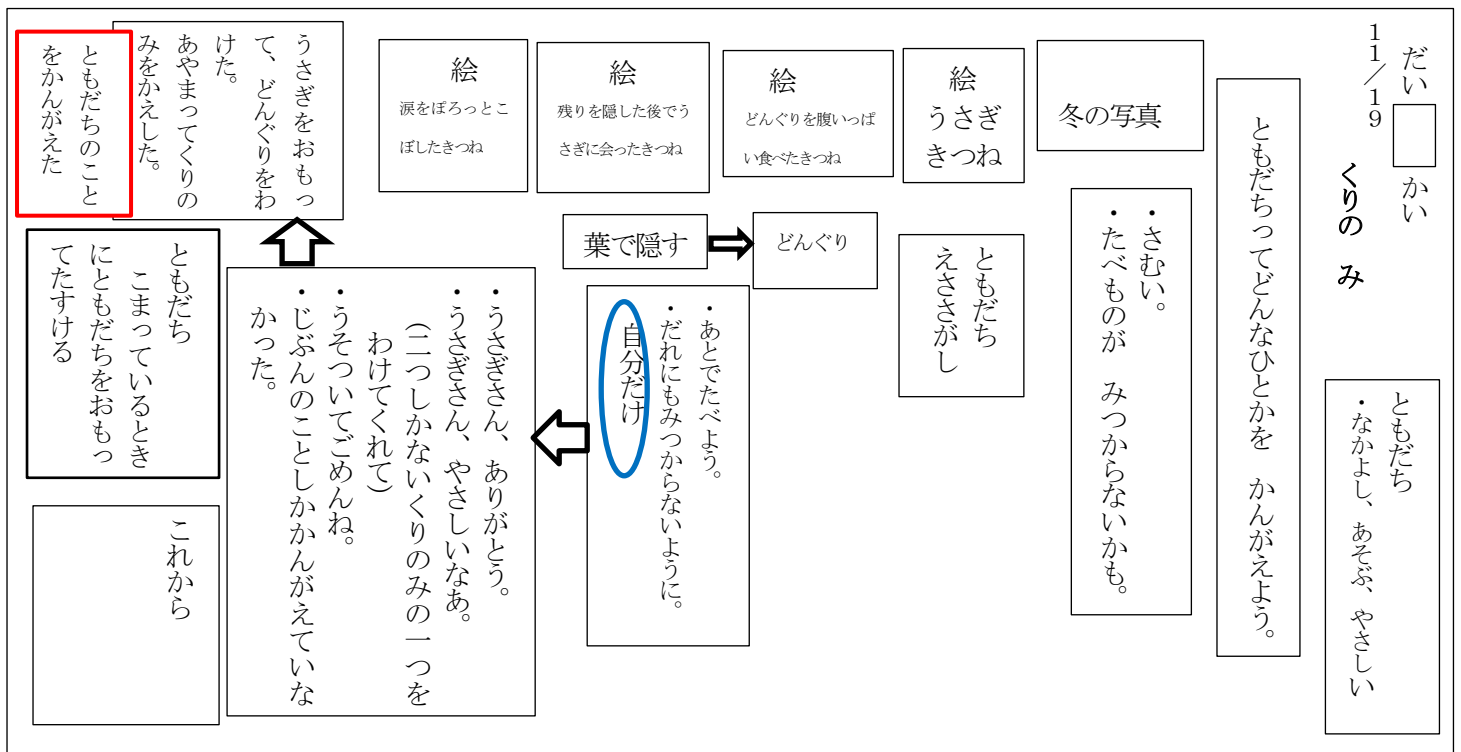
自分のことだけではなく友達のことを考え、助け合うことの大切さを理解し、困っているときには互いに助け合おうとする心情を育てる。

(2) 展開

段階	学習活動と主な発問 ・学習活動 ○発問 ◎中心発問	予想される児童の反応	○支援 ★評価 (方法)
気づく (導入) 5分	1 道徳的価値への動機付け, 教材への方向付け ・ねらいとする価値への方向付けをする。 ○みんなにとって, 友達ってどんな人ですか。 ・学習テーマを設定する。	・仲よしの人 ・遊んでくれる人 ・優しくしてくれる人	
ともだちって どんなひとかを かんがえよう。			
つかむ (展開前段)	2 教材を通して道徳的価値に迫る。 ・教材文を読み聞かせる。 ・教材をもとに考える。 ○きつねは, おなかいっぱい食べた後で, 残ったどんぐりを, どうして落葉で隠したのでしょうか。 ◎きつねはくりのみを握りしめて涙をぼろっとこぼしたとき, どんなことを思っていたのでしょうか。 ○この後, きつねはどうしたと思いますか。	・後でお腹がすいたときに食べようと思ったから。 ・自分が食べたいから, ほかの動物に見つからないようにしようと思ったから。 ・うさぎさん, ありがとう。 ・うさぎさんはくりのみを二つしか見つけていないのに, その一つを分けてくれるんだから, なんて優しいんだろう。 ・うさぎさん, 嘘をついてごめんね。 ・ぼくは自分のことしか考えていなかった。 ・うさぎのことを思って, どんぐりを分けてあげた。 ・嘘をついていたことを謝って, おなかのすいているうさぎを思っくりのみを返した。	○冬の写真などを提示し, 食べ物を探すことの困難さを理解させる。そして, 登場人物の関係や状況をおさえ, 教師が場面絵をはりながら, 読み聞かせる。 ○友達のことを思おうとせず独り占めしようとするきつねの気持ちを考えさせ, きつねの心の弱さに共感させ, 人間理解を深める。 ○自分もお腹がすいているのに友達のきつねのことを思い, 二つしかないくりのみの一つを渡してくれたうさぎの優しさに触れ, 涙をこぼすきつねの感謝や後悔, 反省の気持ちを多面的・多角的にとらえさせ, 互いの考えを聞き合うことで他者理解を深める。
22分	3 道徳的価値をとらえる。 ・道徳の価値を理解するための発問について話し合う。 ○今日, 勉強して「友達ってどんな人」だと思いませんか。	・困っているときに, その人のことを思って助ける人	○これまでの「友達」に対するとらえ方を深め, 困っている時にその人を思って助けることであるということをおさえる。

<p>見つける (展開後段) 15分</p>	<p>4 道徳的価値について自己を見つめる。 ・自己を見つめ、よりよい生き方について考える。 ○困っている友達がいたら、これからどうするかを書きましょう。わけを書ける人は書きましょう。 ・発表し聞き合う。</p>	<p>・ぼくは、友達が道具箱をひっくり返してしまったら、片付けるのを手伝いたいです。(どうしてかという、友達が困っているので助けたいからです) ・わたしは、友達が泣いていたなら、「どうしたの。」と声をかけたいです。(どうしてかという、友達が心配だからです。)</p>	<p>○互いの考えを聞き合うことで他者理解を深める。 ★困っている友達を助け合うことの大切さを実感し、困っている友達を積極的に助けたいという思いを深めることができたか。 (学習シート・発言・観察)</p>
<p>あたたためる (終末) 3分</p>	<p>5 心を整理して、自己を見つめる。 ・学習のまとめを行う。 ○これからも、友達にやさしくしたことや困っているときに助けてもらったことを、帰りの会の「はなまる賞」でたくさん見つけていきましょう。そうすれば、みんなの目指す「なかよし」学級になれるね。</p>	<p>・友達が困っていたら助けてあげて、もっと仲よくなりたいなあ。</p>	<p>○教師の話聞き、友達と仲よく助け合おうとする実践意欲を高めることができるようにする。</p>

(3) 板書計画



教材分析表（1年）

教材名 くりのみ

（学研）

【B 友情・信頼】

【内容項目の理解】
 ・「友達と仲良くし、助け合うこと」は、友達関係における基本とすべきことであり、友達との間に信頼と切磋琢磨の関係をもつことに関する内容項目である。
 ・本時は、友情に重点をおいて指導する。

【中心場面（人間理解の場面）】
 ・どんぐりを見つけたにも拘わらず、それを一人で食べたり、落ち葉で隠したり、何も見つからないと嘘をついたりしたきつねが、二つしかないくりのみの一つをうさぎからもらい、くりのみを握りしめて涙をぼろっとこぼす場面

【この場面の話し合いでの教師の意図】
 ・どんぐりを独り占めしようとするきつねの心の弱さに共感させた後、同じように腹ペコなのに、きつねを気の毒に思い、二つしかないくりのみの一つを分けてくれたうさぎの優しさに触れ、困っている時に友達を思う心の大切さに気付かせたい。

【授業の方向性】A 価値を更に深める・広げる。B 価値の要素に気付く。
 A: 友情について、友達と仲良くすることの大切さは分かっているのに、困っている時に助け合うことの大切さに気づかせ、深めたい。

ねらい	
何をさせることにより、	友達のうさぎの優しさにふれて、涙をこぼすきつねの気持ちを考えさせることにより、
どの道徳の諸様相を育てるのか。	道徳的「判断力」「心情」「実践意欲」「態度」を育てる。

【「自己を見つめさせる」活動で予想される考え】
 ○ぼくは、友達が道具箱をひっくり返してしまったら、片付けるのを手伝いたいです。（どうしてかというと、友達が困っているのを助けたいからです。） わたしは、友達が泣いていたなら、「どうしたの。」と声をかけたいです。（どうしてかというと、友達が心配だからです。）

発問構成	予想される児童の反応
○きつねは、お腹いっぱい食べた後で、残ったどんぐりをどうして落ち葉で隠したのでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> 後でお腹がすいたときに、自分が食べられるように思ったから。 誰にも渡したくなかったから。
◎きつねは、くりのみを握りしめて涙をぼろっとこぼしたとき、どんなことを思っていたのでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> うさぎさん、分けてくれてありがとう。 うさぎさんは、くりのみを二つしか見つけられなかったのに、その一つを分けてくれるんだから、なんて優しいんだろう。 うさぎさん、うそをついてごめんね。 ぼくは、自分のことしか考えていなかった。
○この後、きつねはどうしたと思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> うさぎのことを思って、隠していたどんぐりを分けてあげた。 嘘をついたことを謝って、お腹のすいているうさぎを思って、くりのみを返した。
○友達ってどんな人ですか。	<ul style="list-style-type: none"> 困っている時に、その人のことを思って助ける人